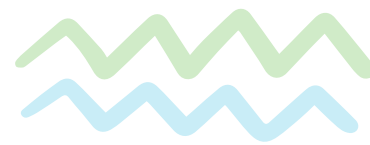


令和6年度多文化共生に関する企業向けセミナー
企業経営者・人事担当者必見!



外国人と共に働く県内企業の事例で学ぶ! 多文化経営と外国人雇用の実践モデル

参加費
無料

言葉、宗教、文化の背景が違う人たちが共に働き、特別な存在ではなく同じ仲間、チームとして働く環境づくりをしている企業の実践を聞いてみませんか。
試行錯誤の末、たどり着いたそれぞれの優良事例や取り組み、心構えを共有していただき、多文化経営や企業と行政がどのように連携して、世界に誇れる佐賀県づくりができるかを、基調講演と企業の実践事例から学び、考えるセミナーです。



昨年度事例発表をいただいた鹿島市にある、株式会社 植松建設での職場研修(チームビルディング研修)の様子

開催日・場所

場所:佐賀商エビル

7階 大会議室

(佐賀市白山2-1-12)

駐車場:無料駐車場:佐賀中央郵便局
東駐車場(徒歩5分)

佐賀商エビル近隣駐車場
(有料)

2024

8/28(水)

10:00~12:30

プログラム

10:00~開会

10:05~基調講演(40分)

10:50~企業の事例発表①(20分)

11:13~企業の事例発表②(20分)

11:40~質疑応答

12:00~参加者同士の意見交換

12:30 閉会

※内容の詳細は裏面をご覧ください。
※時間配分・内容は多少前後する場合があります。

参加申込

(下記の①又は②の方法でお申し込みください)

①FAX:下の必要事項を記入のうえ(0952-25-7084)までお送りください。

②WEB:右のURLまたは二次元コードからお申し込みください。 <https://logoform.jp/f/L3Evp>

申込締め切り 8月23日(金)



| | |
|------------------------|--------------------------|
| 会社名 | |
| 住所 | 〒 |
| 担当者名・部署名 電話番号 | 担当者名()部署名() 電話番号() |
| 外国人材の雇用状況 | 在留資格: 国籍: 人数: |
| セミナーで聞きたいこと、 得たい情報等 | |

| | | | |
|------|-----|----|----|
| 参加者1 | 部署名 | 役職 | 氏名 |
| 参加者2 | 部署名 | 役職 | 氏名 |
| 参加者3 | 部署名 | 役職 | 氏名 |

基調講演

演題「これからの外国人雇用と企業に求められる取り組み」 ～地域と共に進める持続可能な職場づくり～



一般財団法人ダイバーシティ研究所
代表理事 田村 太郎氏

兵庫県伊丹市生まれ。阪神大震災で外国人被災者の支援を機に「多文化共生センター」を設立(95年)。政府の研究会や有識者会議の構成員として「多文化共生推進プラン」(総務省・06年)や「外国人との共生社会実現のためのロードマップ」(関係閣僚会議・22年)の策定に携わる。
2007年1月から「ダイバーシティ研究所」代表として、CSR(企業の社会責任)におけるダイバーシティ戦略や自治体による多様性配慮のための施策づくりに取り組んでいる。

事例紹介 3つの紹介ポイント

1 人材育成! 外国人材の キャリア形成

「やさしい日本語のマニュアル作成」と「ロールモデルとなる外国人リーダーの配置」がキーワード。言葉の壁を乗り越える取り組みと、外国人のモチベーションを高め、長期的なキャリア形成を支援する企業の挑戦をお話していただきます!

2 心強さ! 社内外の サポート体制

言葉や宗教の違う外国人従業員と日本人従業員が、共に働きやすい環境を作り、職場全体の連携の強化を図るため「人材育成チームの設立」や「多文化間の調整を担う職員(部署)の重要性」等について、それぞれの視点からお話いただきます。

3 活力維持! 定着において

『人材ではなく、人財』である。多様な人の集まりで構成する企業。日本人・外国人関係なく、一人一人が活躍し、可能性を発揮できるような会社とは何か。どんな形で、またどんなプロセス(過程)を大事に、変化し前進してけばいいのか。皆さんと一緒に考えましょう。

事例発表① 株式会社 東洋新薬 製造業



人事本部
人事部
人事管理課
岩崎 久氏

東洋の漢方に代表される予防医学の思想で、薬にかわる新しい価値を提供したいという考えから、東洋新薬という社名となっています。

弊社は健康食品・化粧品の総合受託製造メーカーで、外国人材を受け入れて8年になりました。今では特定技能17名と留学生96名が勤務しています。

外国人材の受入れ当初は、仕事の指示や指導がうまく伝わらず、留学生も混乱し、仕事が円滑に進まず、現場も対応に苦慮していました。現在では、ネパール人社員を2名採用し、派遣先の留学生管理者と協力し体制を整えています。

また、留学生の活性化プロジェクトに取り組んでいます。雇用している留学生の中からリーダーを任命し、留学生にも責任を持って仕事をしてもらうことで、意欲向上を図っていきたいと思います。また、相互にとっていい関係が築けるようになれば社員登用につなげたいと考えています。

事例発表② 株式会社 ナンキュウ 土木業(コンクリートポンプ圧送業)



代表取締役
嶽本 育子氏



HR部
人材育成チーム
中村 里沙氏

株式会社ナンキュウでは、外国人技能実習生を積極的に受け入れています。外国人実習生を受け入れるにあたって乗り越えなければならない『言葉の壁』。取組の一つとして、技術者特製の「ナンキュウ版やさしいにほんごマニュアル」を使った、実習生の育成を図っています。「やさしい日本語」は、私たち日本人にとって学ぶことが多く、社内の人間関係にも良い影響を与えています。

きっかけは社内での多文化共生の取り組みでしたが、外国人や日本人に関わらず、会社の全ての人々が働きやすく、個人が持てる力を最大限発揮できる会社作りが重要だと気付きました。(一人一人が持った役割で会社が成り立っていること、長所を活かせること、経営企画という考え方でそれぞれの土台を組み立てていること等)

「見たら分かるだろう」で終わってはいけません。基礎・基本を揃えて、初めての人でも安心して取り組める工夫をすることは、外国人でも日本人でも変わらないことです。

申し込み・お問い合わせ 佐賀県多文化共生さが推進課

〒840-8570 佐賀市城内1丁目1-59
tabunkasagasuishin@pref.saga.lg.jp

☎ 0952-25-7328
📠 0952-25-7084